

# 令和5年度 体験活動普及啓発事業

## 家族 DAY

- [ 主 催 ] 国立曽爾青少年自然の家
- [ 期 日 ] 10月14日(土)～10月15日(日)
- [ 対 象 者 ] 小学生を含む親子
- [ 参加/募集 ] 9家族/10家族
- [ 講 師 ] 杉本孝美(大阪総合保育大学)
- [ 担 当 ] 福島茂樹(企画指導専門職)  
三木智拡(企画指導専門職)



### 1 趣 旨

- ①絵本の世界を実体験できる機会を作り、読書活動への興味関心を誘う。
- ②伝統文化のよさを知り、家族のコミュニケーションを図る機会とする。
- ③保護者に読書の重要性を普及啓発する機会を設ける。

### 2 プログラム展開

1日目	集合	13:00 はじまりの会 絵本タイム	14:00 森を歩こう 和紙作り	17:00 食事/入浴 (食堂・浴室)	19:00 選択プログラム (絵本トーク・星空観察・たき火) ※自由参加です	21:30 就寝
	2日目	起床	6:30 朝食 (食堂)	7:30 俳句でハイク! 作品展覧会をしよう	9:00 昼食 (食堂)	12:00 おわりの会

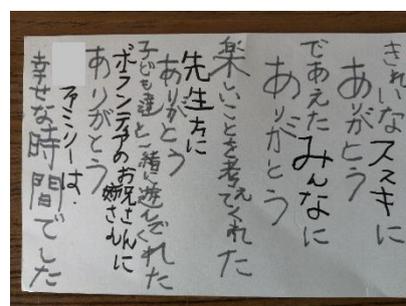
### 3 活動の様子



伝統文化



読書活動



事業後参加者から届いた手紙

### 4 まとめ(ねらいに対する参加者の感想)

- ① 子供が小さい頃にはよく読み聞かせをしていましたが、今回は聞く側になり、改めて絵本の持つメッセージ、深みを味わうことができました。また、ゆっくりと本を開いてみたいです。(保護者の感想)
- ② 自然の中で見つけた素材で和紙を作り、筆文字を書いて、良い思い出の作品を作れました。  
(保護者の感想)
- ③ もともと、読み聞かせは大事と思ってやってきました。ですが、改めてその認識を深くしました。  
(保護者の感想)
- ③ 今まで子どもの知育のために半分義務感で絵本を読んでいたのですが、大人も絵本の読み聞かせをしてもらえて、純粹に絵本の世界に入って楽しむことが、言葉の響き、1つの絵を見ても見る人によって見方、感じ方が違うことなどを感じました。絵本は忙しい毎日の中、立ち止まってみるいい機会になると思いました。(保護者の感想)
- ① もとから本はめちゃくちゃ好きだったけど、もっときょうみをもちました。(子どもの感想)
- ② ひろった葉っぱをつかって和紙づくりがおもしろかったです。(子どもの感想)